

■ 中間処理施設に関する事項

2026年4月1日現在

	所在地	設置年月日	施設の 種類	産業廃棄物 の種類	処理能力	処理方式	構造及び 施設の概要
①	山口県山陽小野田市 大字有帆字上指月10003番5	平成24年12月12日	圧縮減容	廃プラスチック類(自動車等破砕物を 含む。)、紙くず、木くず、繊維く ず、ゴムくず 以上5種類	12t/日 (10時間)	電動式全自動 横型プレス機	プレス機(主電動機15kW) 梱包寸法 750×750×1,000~1,200mm  ・騒音・振動防止方法 施設を屋内に設置
②	山口県宇部市 大字船木字山田61番41 61番47 61番47	令和7年7月7日	焼却 (分解含む)	廃プラスチック類、金属くず、ガラスく ず・コンクリートくず(がれき類を除 く。)、陶磁器くず(自動車等破砕 物を含む。以上3種類)、燃え殻、 汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、紙く ず、木くず、繊維くず、動植物性残 渣、ゴムくず、鋳さい、がれき類、動 物のふん尿、ばいじん 以上17種類	49.7t/日(24時間) 〈廃プラスチック類の焼却〉 98.4t/日(24時間) 〈汚泥の焼却〉 82.4t/日(24時間) 〈廃油の焼却〉 150.0t/日(24時間) 〈その他の産業廃棄物の焼却〉 12t/日(24時間) 〈分解施設〉	向流式ロータリーキルン	焼却炉 ロータリーキルン(φ2,632×ℓ11,000) ストーカ 減温塔 電気集じん器 バグフィルタ  ・燃焼ガス温度 850℃以上 (シアン化合物の処理は900℃以上) ・燃焼ガス滞留時間 2秒以上 ・排ガスの処理方法 湿式(アルカリ洗浄)＋乾式(電気集塵 機、バグフィルタ)＋触媒の併用方式 ・焼却灰の処理方法 灰だしコンベアにより貯留場にて保管 し、管理型最終処分場へ処理を委託 ・廃油の流出防止堤の構造 コンクリート防油堤(厚さ200mm)を設置 ・地下浸透防止方法 施設の設置箇所床面はコンクリート床
③	山口県山陽小野田市 大字有帆字上指月10003番5	平成25年1月12日	破砕	廃プラスチック類(自動車等破砕物を 含む。)、紙くず、木くず、繊維く ず、ゴムくず 以上5種類	15t/日(10時間) 〈廃プラスチック類〉 8t/日(10時間) 〈木くず〉	一軸破砕機	一軸破砕機(主電動機90kW) 供給設備  ・粉じん対策 集じん機を設置 ・騒音・振動防止方法 吸音材、防音カバー設置 施設を屋内に設置

■ 中間処理施設に関する事項

2026年4月1日現在

	所在地	設置年月日	施設の 種類	産業廃棄物 の種類	処理能力	処理方式	構造及び 施設の概要
④	山口県山陽小野田市 大字有帆字上指月10003番5	令和7年1月7日	破碎・圧縮固 化	廃プラスチック類、金属くず、ガラスく ず・コンクリートくず(がれき類を除 く。)・陶磁器くず(自動車等破碎 物を含む。以上3種類)、燃え殻、 汚泥(無機性に限る)、紙くず、織 維くず、ゴムくず、鋳さい、ばいじん 以上10種類	4.48t/日(8時間) 〈廃プラスチック類〉 1.52t/日(8時間) 〈汚泥、鋳さい〉 0.48t/日(8時間) 〈紙くず〉 0.16t/日(8時間) 〈金属くず、ガラスくず・コンクリートくず (がれき類を除く。)・陶磁器くず、 燃え殻、繊維くず、ゴムくず、ばいじ ん	二軸破碎機 一軸破碎機 減容成型機	二軸破碎機(主電動機75kW) 一軸破碎機(主電動機75kW) 減容成型機(主電動機280kW) 供給設備 ・粉じん対策 供給設備に密閉カバーを設置 ・騒音・振動防止方法 施設を屋内に設置
⑤	山口県宇部市 大字船木字山田61番41	平成15年1月15日	油水分離	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ 以上4種類	31t/日 (24時間)	攪拌機付き 油水分離槽	油水分離槽(10m <sup>3</sup> ) 沈降槽(15m <sup>3</sup> ) ・汚泥の処理 再生利用 ・廃油の流出防止堤の構造 コンクリート防油堤(厚さ200mm)を設置 ・排水の処理方法 施設からの排水はなし 分離した水は焼却施設にて高温分解 処理 ・地下浸透防止方法 施設の設置箇所床面はコンクリート床
⑥	山口県山陽小野田市 大字有帆字上指月10003番5	平成24年12月20日	切断	廃プラスチック類(自動車等破碎物を 含む。)、紙くず、木くず、ゴムくず 以上4種類	3t/日 (10時間)	バックホウ取付型 切断機	切断機(最大使用油圧 350kg/cm <sup>3</sup> ) バックホウ(67kW) ・粉じん対策 ミスト発生装置により水噴霧 ・騒音・振動防止方法 施設を屋内に設置
⑥	山口県山陽小野田市 大字有帆字上指月10003番3、 10003番25、10003番5の一部 及び10003番16の一部	昭和47年3月13日	管理型 最終処分場	ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を 除く。)・陶磁器くず(自動車等破 碎物を含む。) 以上1種類	面積:17,421m <sup>2</sup> 容量:81,122m <sup>3</sup>	埋立	・浸出液の処理方法 焼却施設にて焼却処理 ・飛散、流出防止の方法 擁壁構造(遮水シートあり) ・防災設備の構造 貯水池(遮水シートあり)を設置